

**海南市
介護サービス事業所調査
報告書**

令和8年3月

海 南 市

目次

調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 実施要領	1
3. 報告書の留意点・見方	1
調査の結果（法人で実施するサービスの種類ごと）	2
（1）事業所で実施しているサービス	2
（2）サービスの質の向上に向けた取り組み状況等について	5
（3）サービスの実施に関することについて	7
（4）医療機関との連携について	13
（5）看取り支援について	15
（6）人生の最終段階における意思決定支援について	22
資料（調査票）	25

調査の概要

1. 調査の目的

高齢者を取り巻く環境が刻々と変化する中で、調査対象の現在の状況や意向、抱えている問題、また、介護保険制度・高齢者福祉サービスに対する考え方などを把握し、より実態に即した計画にするための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2. 実施要領

調査対象	配布数	回収数	回収率	調査期間	調査方法
本市のサービス別の事業所	195 か所	170 か所	87.2%	令和8年 1月9日 ～ 1月30日	メール配布 ・ メール回収

3. 報告書の留意点・見方

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、不明なものや無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・また、図表において回答の割合が0.0%の選択肢がある場合、その選択肢の図示を省略する場合があります。

調査の結果（法人で実施するサービスの種類ごと）

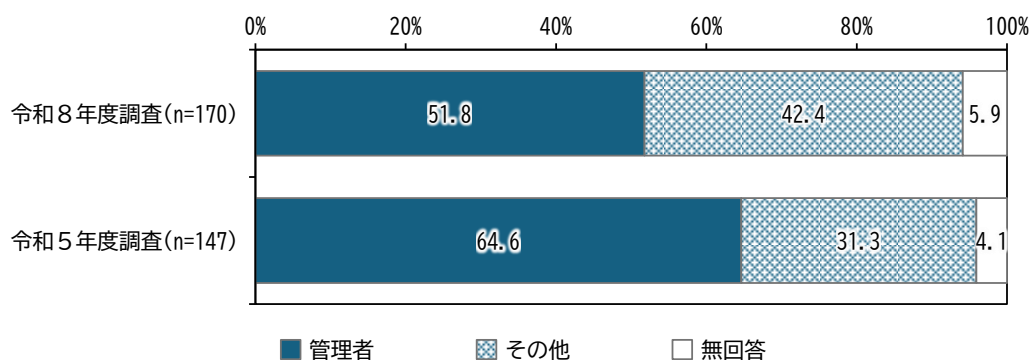
（１）事業所で実施しているサービス

問 1	本票作成におけるサービス実施状況についておうかがいします。 また、サービスの利用人数等もご記入ください。（令和 7 年 12 月分）
-----	---

【記入者について】

記入者の職名については、「管理職」が 51.8%、その他が 42.4%となっています。

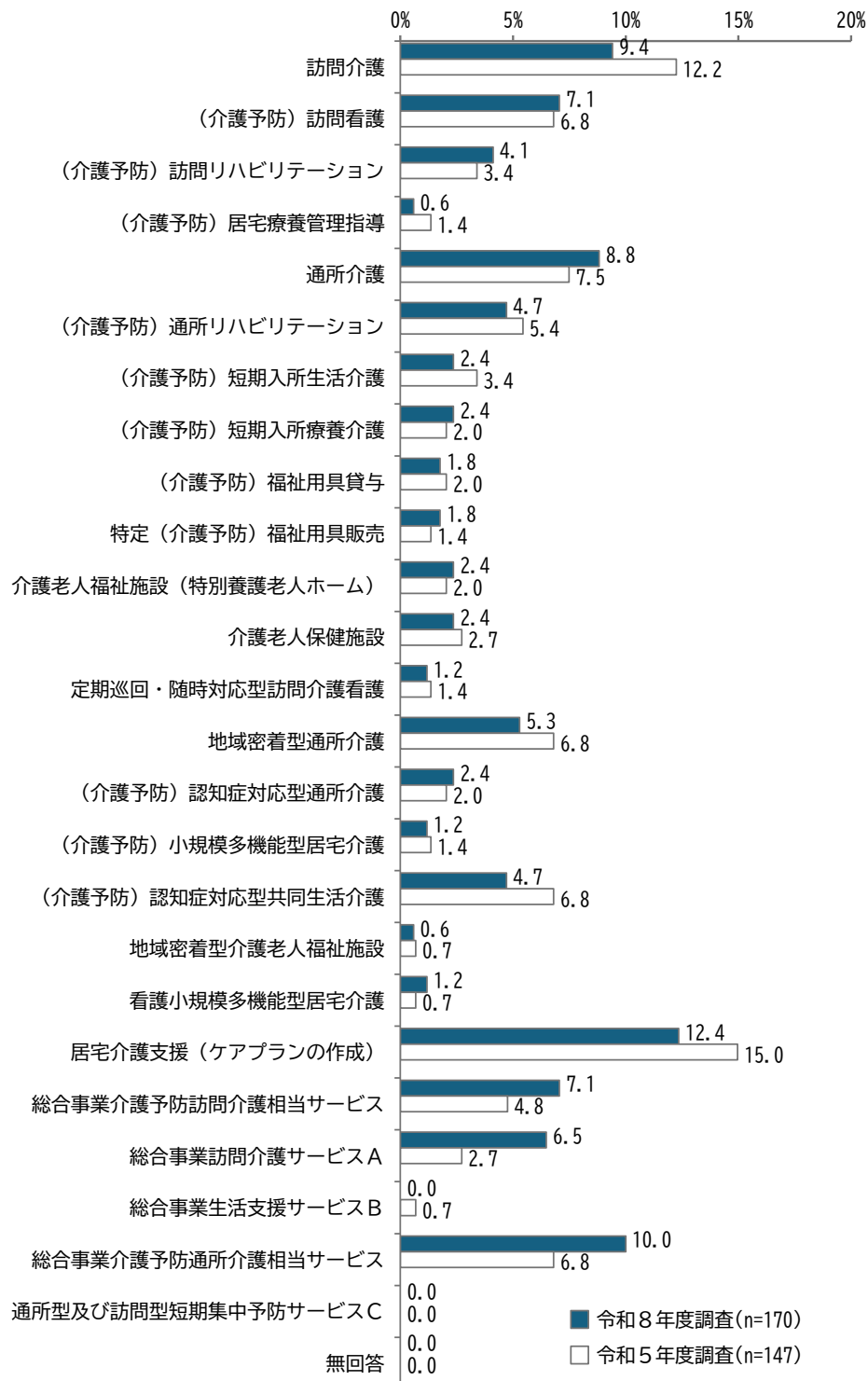
令和 5 年度調査と比較すると、「管理者」が 12.8 ポイント減少、「その他」が 11.1 ポイント増加しています。



【介護サービスについて】

実施サービスは、「居宅介護支援（ケアプランの作成）」が 12.4%で最も高く、続いて「総合事業介護予防通所介護相当サービス」が 10.0%、「訪問介護」が 9.4%となっています。

令和 5 年度調査と比較すると、「総合事業訪問介護サービス A」が 3.8 ポイント増加、「総合事業介護予防通所介護相当サービス」が 3.2 ポイント増加し、「訪問介護」が 2.8 ポイント減少しています。



【実施状況について】

各サービスの平均稼働日数、平均利用人数は以下のとおりです。

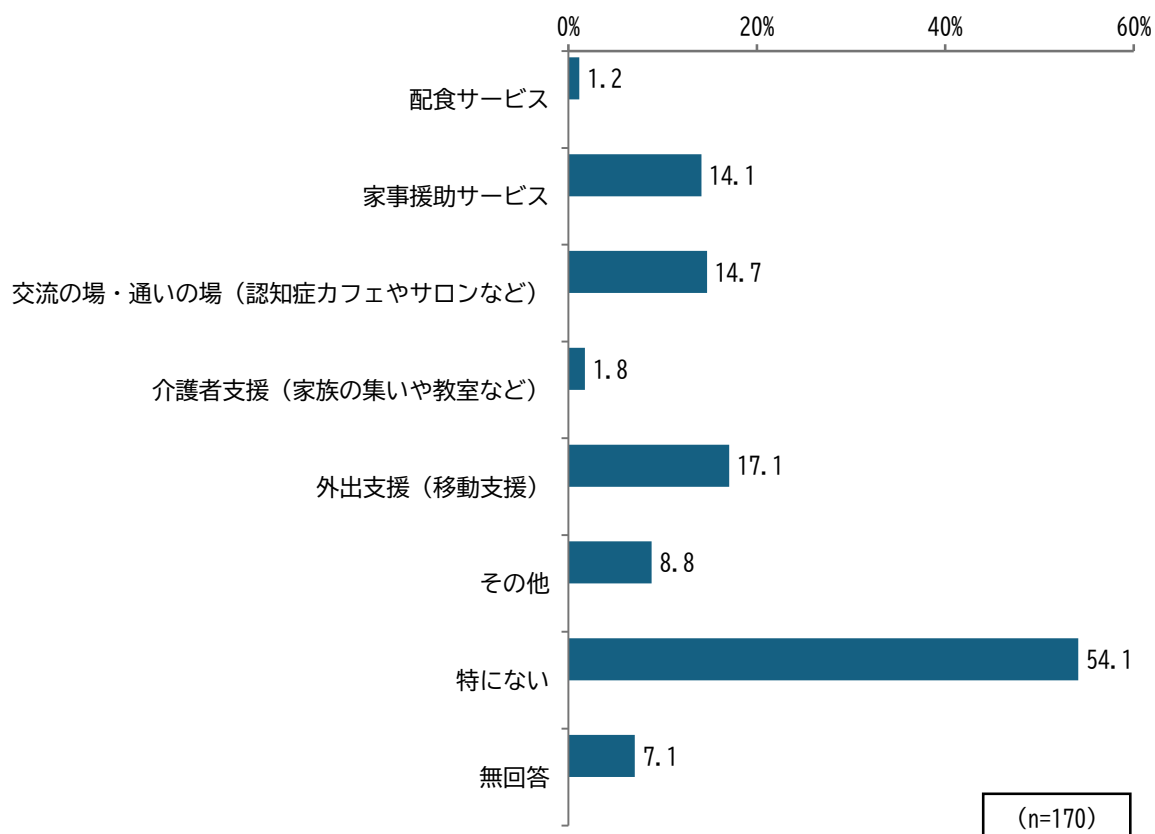
サービスの種類	n	稼働 日数	介護		介護予防	
			利用人数 (実数)	利用人数 (月間・延べ)	利用人数 (実数)	利用人数 (月間・延べ)
訪問介護	16	30.5	36.3	562.1		
(介護予防) 訪問看護	12	26.7	22.4	140.7	4.7	22.3
(介護予防) 訪問リハビリテーション	7	16.1	9.7	56.2	2.0	11.1
(介護予防) 居宅療養管理指導	1	31.0	75.0	130.0	9.0	16.0
通所介護	15	24.1	37.5	364.1		
(介護予防) 通所リハビリテーション	8	23.0	43.9	334.8	30.6	193.6
(介護予防) 短期入所生活介護	4	31.0	23.8	304.5	1.5	12.3
(介護予防) 短期入所療養介護	4	25.5	14.3	102.3	1.0	7.3
(介護予防) 福祉用具貸与	3		15.3	127.7	6.3	57.7
特定(介護予防) 福祉用具販売	3		0.5	1.0	0.0	0.0
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	4	31.0	69.3	2058.5		
介護老人保健施設	4	31.0	55.3	1564.0		
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	31.0	23.0	623.5		
地域密着型通所介護	9	25.0	23.1	250.3		
(介護予防) 認知症対応型通所介護	4	26.3	18.3	132.3	0.0	0.0
(介護予防) 小規模多機能型居宅介護	2	31.0	14.0	364.0	3.5	78.5
(介護予防) 認知症対応型共同生活介護	8	31.0	13.6	346.7	0.0	0.0
地域密着型介護老人福祉施設	1	31.0	19.0	589.0	0.0	0.0
看護小規模多機能型居宅介護	2	30.5	22.0	717.5	0.0	0.0
居宅介護支援(ケアプランの作成)	21	23.9	60.0	74.8	25.1	31.2

サービスの種類	n	稼働 日数	要支援1・2		事業対象者	
			利用人数 (実数)	利用人数 (月間・延べ)	利用人数 (実数)	利用人数 (月間・延べ)
総合事業介護予防訪問介護相当サービス	12	27.2	7.3	48.4	0.7	5.7
総合事業訪問介護サービスA	11	29.7	14.5	93.3	2.0	10.0
総合事業生活支援サービスB	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総合事業訪問型短期集中予防サービスC	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総合事業介護予防通所介護相当サービス	17	23.8	7.8	50.3	1.1	6.3
総合事業通所型短期集中予防サービスC	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（２）サービスの質の向上に向けた取り組み状況等について

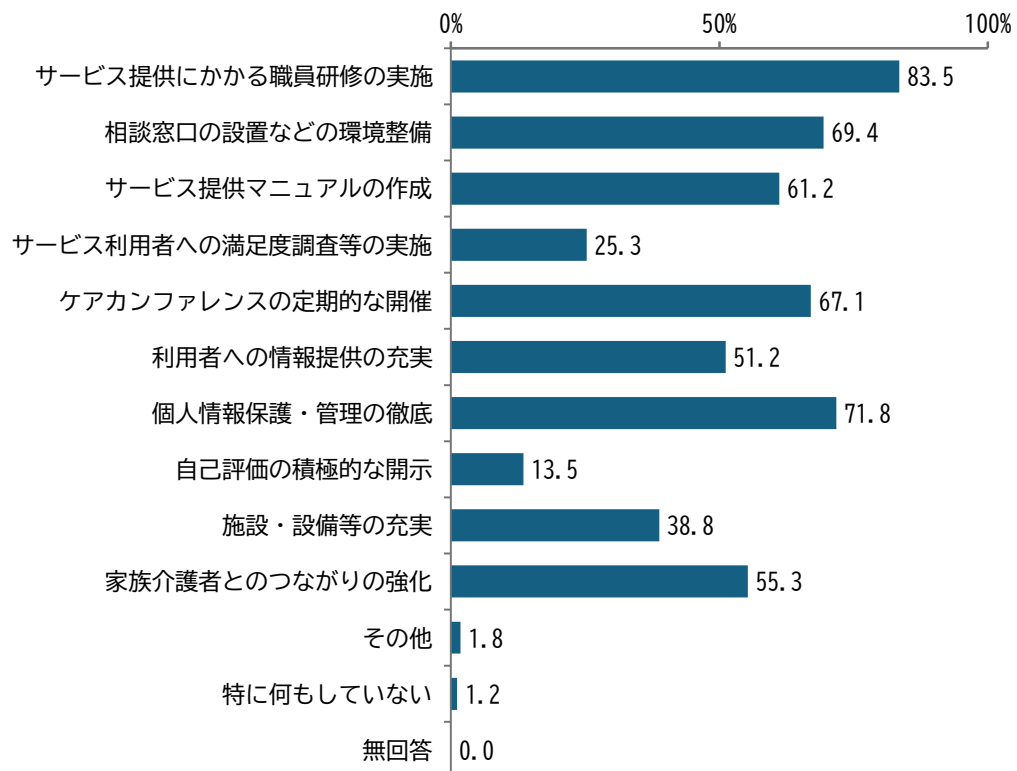
問 2 貴事業所で、介護保険外で提供しているサービスはありますか。（すべてに○）

介護保険外で提供しているサービスは、「特にない」が 54.1%で最も高く、続いて「外出支援（移動支援）」が 17.1%、「交流の場・通いの場（認知症カフェやサロンなど）」が 14.7%となっています。



問3	サービスの質の向上に向けて特に取り組んでいることはありますか。(すべてに○)
----	--

サービスの質の向上に向けて特に取り組んでいることは、「サービス提供にかかる職員研修の実施」が83.5%で最も高く、続いて「個人情報保護・管理の徹底」が71.8%、「相談窓口の設置などの環境整備」が69.4%となっています。



(n=170)

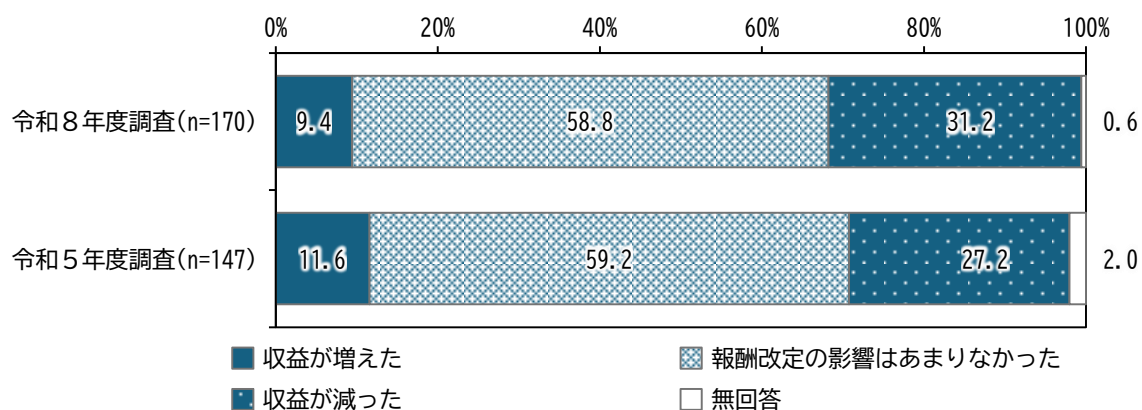
(3) サービスの実施に関することについて

問 4

令和6年度介護報酬改定の影響について、改定前と改定後の収益はどのように変わりましたか。(数字を1つ)

介護報酬改定前と改定後の収益の変化については、「報酬改定の影響はあまりなかった」が58.8%で最も高く、続いて「収益が減った」が31.2%、「収益が増えた」が9.4%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「収益が減った」が4.0ポイント増加し、「収益が増えた」が2.2ポイント減少しています。

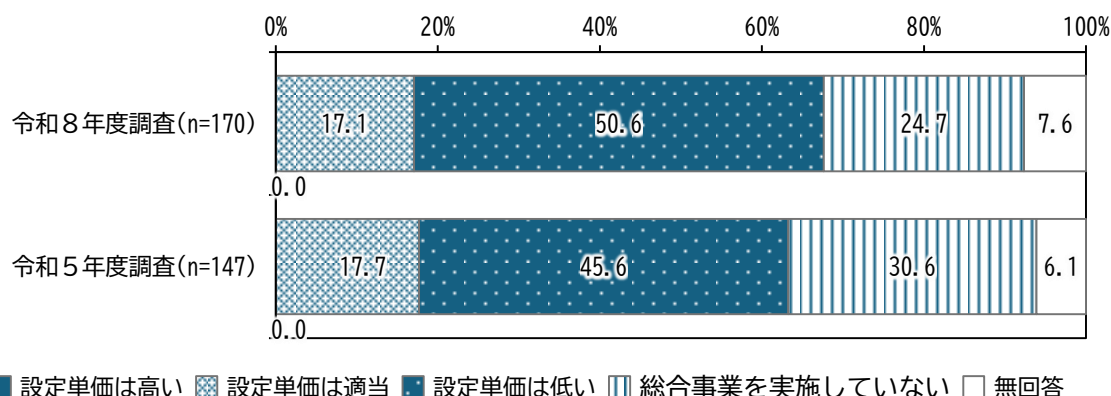


問 5

介護予防・日常生活支援総合事業に関して、設定単価についてはどう感じていますか。(数字を1つ)

介護予防・日常生活支援総合事業の設定単価については、「設定単価は低い」が50.6%で最も高く、続いて「総合事業を実施していない」が24.7%、「設定単価は適当」が17.1%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「設定単価は低い」が5.0ポイント増加し、「総合事業を実施していない」が5.9ポイント減少しています。



問6	第10期中（令和9年4月1日～令和12年3月31日）に新たに増やしたいと具体的に計画しているサービスがありますか。（すべてに○）
----	--

新たに増やしたいと具体的に計画しているサービスについては、「その他」が12件、「居宅介護支援」が3件、「訪問介護サービスA」・「通所型短期集中予防サービスC」が2件となっています。

n=170

サービスの種類	件数
居宅介護支援	3
地域密着型通所介護	0
地域密着型介護老人福祉施設	0
認知症対応型共同生活介護	0
小規模多機能型居宅介護	0
認知症対応型通所介護	0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
看護小規模多機能型居宅介護	1
介護予防訪問介護相当サービス	1
訪問介護サービスA	2
生活支援サービスB	0
訪問型短期集中予防サービスC	0
介護予防通所介護相当サービス	1
通所型短期集中予防サービスC	2
訪問型サービスD	0
その他	12
無回答	151

問7	第10期中（令和9年4月1日～令和12年3月31日）に当該サービスについて、廃止や休止、サービス変更が計画されていますか。（数字を1つ）
----	--

当該サービスについての廃止や休止、サービス変更の計画については、「サービス変更」が8件、「事業所廃止」が3件となっています。

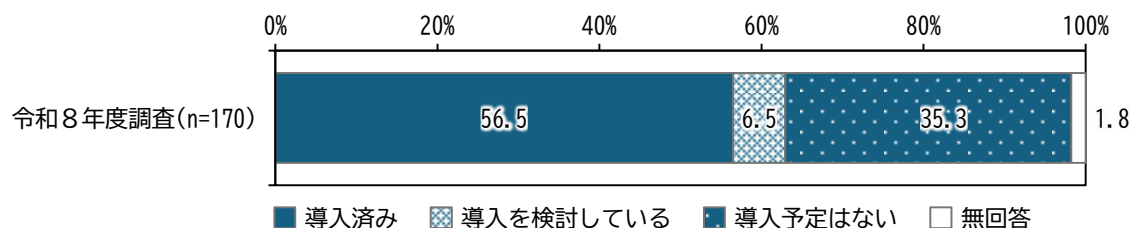
n=170

計画内容	件数
事業所廃止	3
事業所休止	1
サービス変更	8
無回答	158

問 8

現在実施のサービスにおいて、ICT 機器を導入していますか。(数字を1つ)

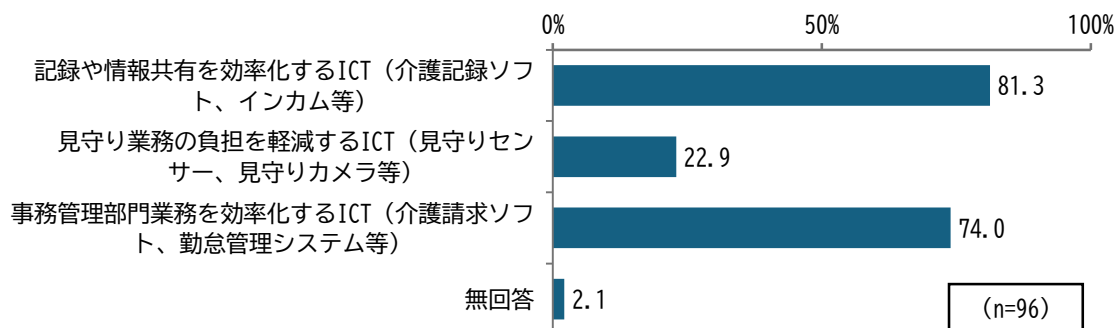
現在実施のサービスにおける ICT 機器の導入については、「導入済み」が 56.5%で最も高く、続いて「導入する予定はない」が 35.3%、「導入を検討している」が 6.5%となっています。



問 9

問 8 で「1. 導入済み」を選択した方におうかがいします。
どのような機器を導入していますか。(すべてに○)

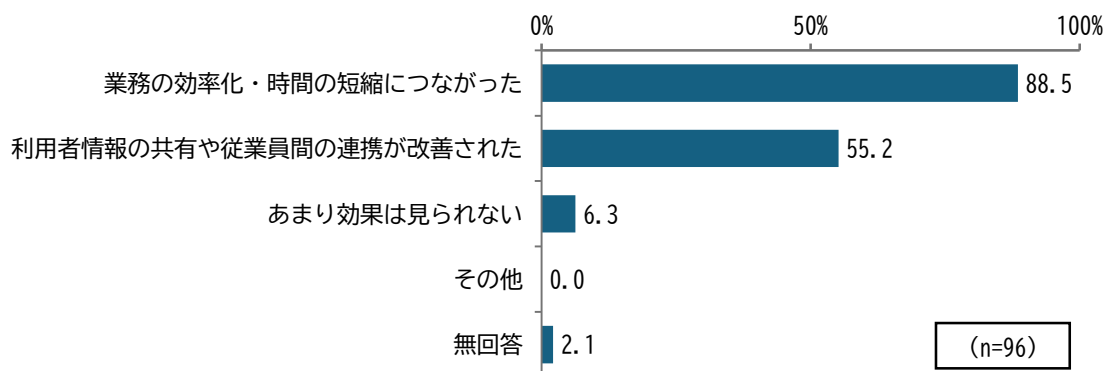
導入している ICT 機器については、「記録や情報共有を効率化する ICT (介護記録ソフト、インカム等)」が 81.3%、「事務管理部門業務を効率化する ICT (介護請求ソフト、勤怠管理システム等)」が 74.0%、「見守り業務の負担を軽減する ICT (見守りセンサー、見守りカメラ等)」が 22.9%となっています。



問 10

問 8 で「1. 導入済み」を選択した方におうかがいします。
機器導入による効果はありましたか。(すべてに○)

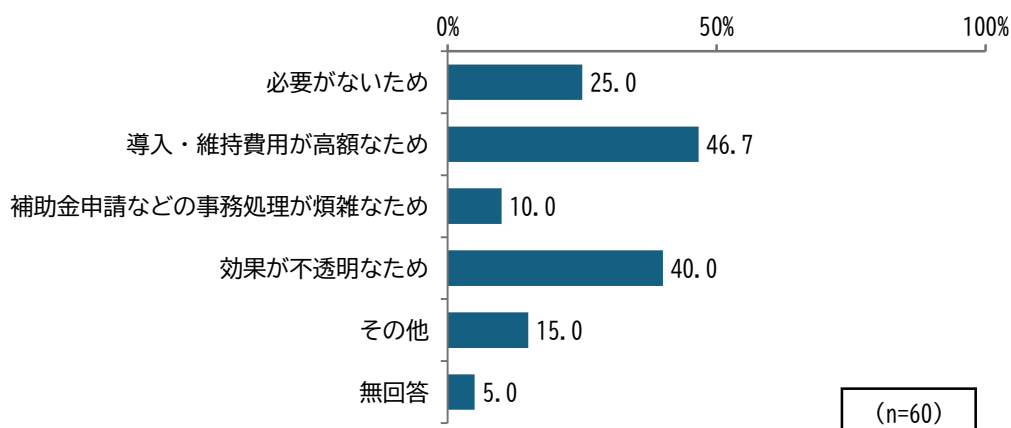
ICT 機器の導入による効果については、「業務の効率化・時間の短縮につながった」が 88.5%で最も高く、続いて「利用者情報の共有や従業員間の連携が改善された」が 55.2%、「あまり効果は見られない」が 6.3%となっています。



問 11

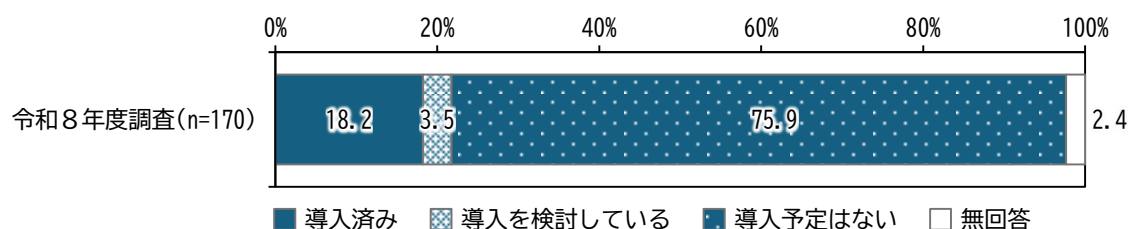
問 8 で「3. 導入予定はない」を選択した方におうかがいします。
その理由を教えてください。(すべてに○)

ICT 機器の導入予定はない理由については、「導入・維持費用が高額なため」が 46.7%で最も高く、続いて「効果が不透明なため」が 40.0%、「必要がないため」が 25.0%となっています。



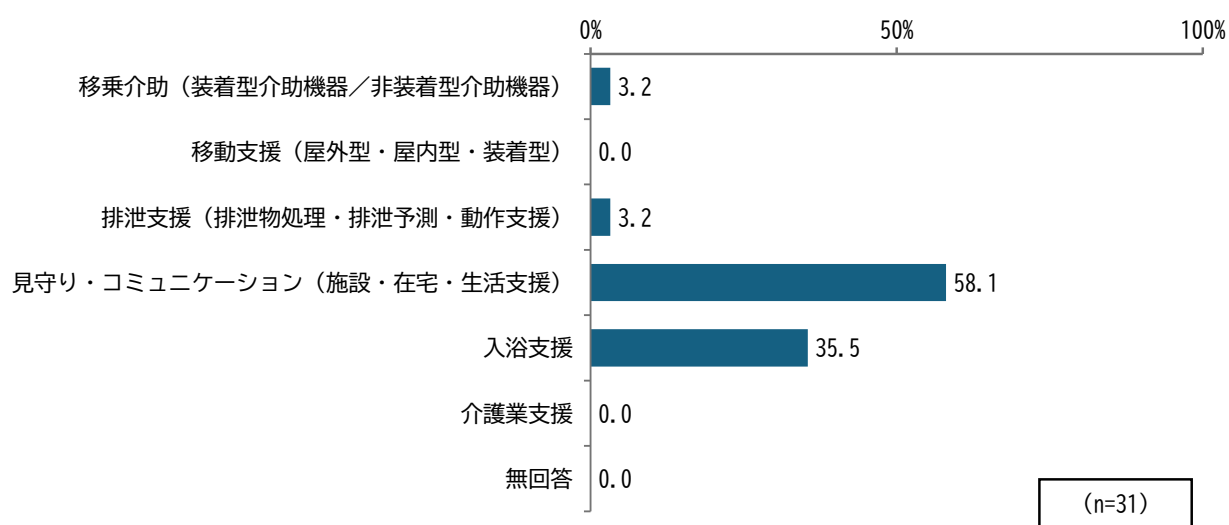
問 12	当該サービス実施において、介護ロボットを導入していますか。（数字を1つ）
------	--------------------------------------

当該サービス実施における介護ロボットの導入については、「導入予定はない」が75.9%で最も高く、次いで「導入済み」が18.2%、「導入を検討している」が3.5%となっています。



問 13	問 12 で「1. 導入済み」を選択した方におうかがいします。 どのような種類の介護ロボットを導入していますか。（すべてに○）
------	--

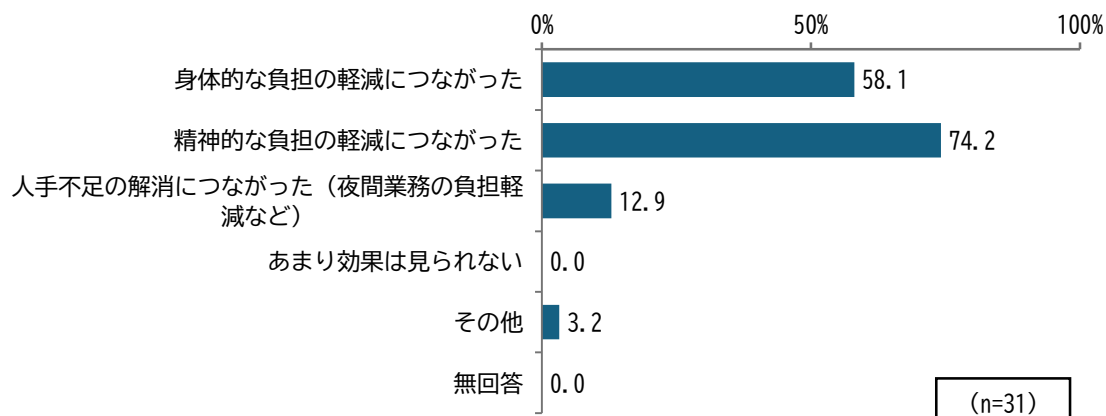
導入している介護ロボットについては、「見守り・コミュニケーション（施設・在宅・生活支援）」が58.1%、「入浴支援」が35.5%となっています。



問 14

問 12 で「1. 導入済み」を選択した方におうかがいします。
介護ロボット導入による効果はありましたか。(すべてに○)

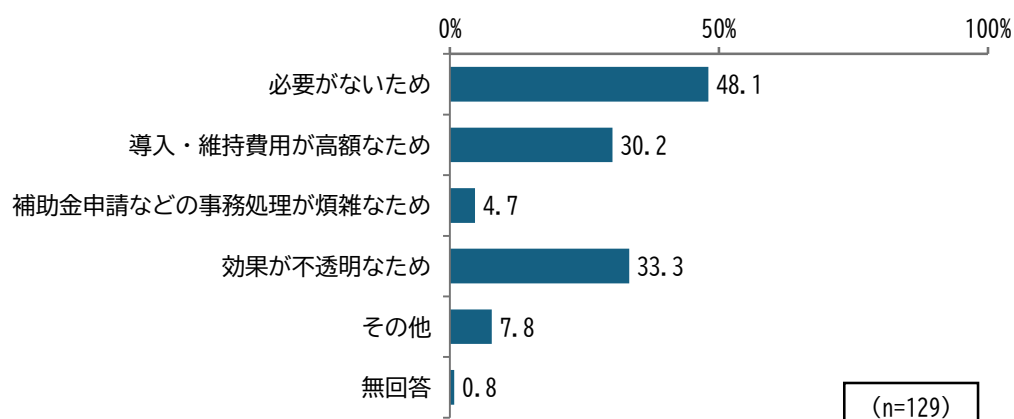
介護ロボット導入による効果については、「精神的な負担の軽減につながった」が 74.2%で最も高く、続いて「身体的な負担の軽減につながった」が 58.1%、「人手不足の解消につながった（夜間業務の負担軽減など）」が 12.9%となっています。



問 15

問 12 で「3. 導入予定はない」を選択した方におうかがいします。
その理由を教えてください。(すべてに○)

介護ロボットの導入予定はない理由については、「必要がないため」が 48.1%で最も高く、続いて「効果が不透明なため」が 33.3%、「導入・維持費用が高額なため」が 30.2%となっています。

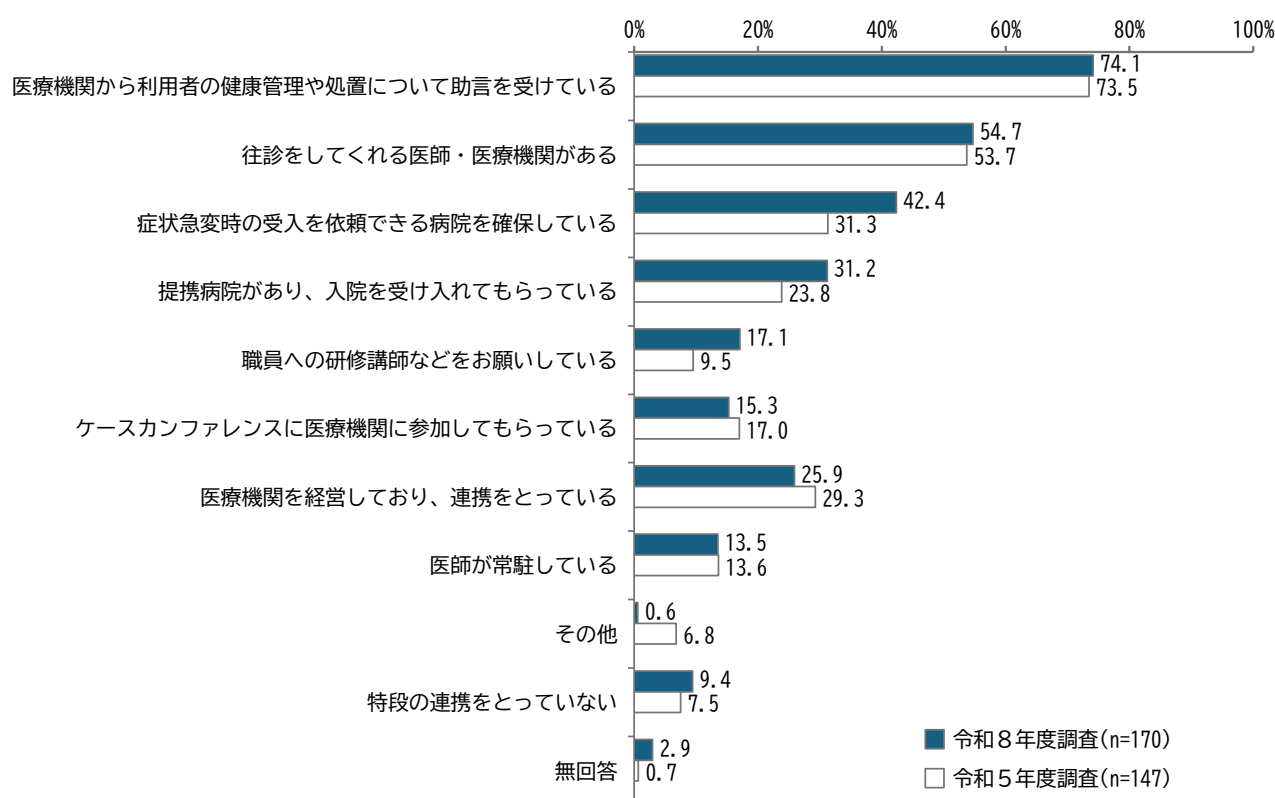


(4) 医療機関との連携について

問 16 医療機関とはどのような連携をとっていますか。(すべてに○)

医療機関との連携については、「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」が74.1%で最も高く、続いて「往診をしてくれる医師・医療機関がある」が54.7%、「症状急変時の受入を依頼できる病院を確保している」が42.4%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「症状急変時の受入を依頼できる病院を確保している」が11.1ポイント増加しています。

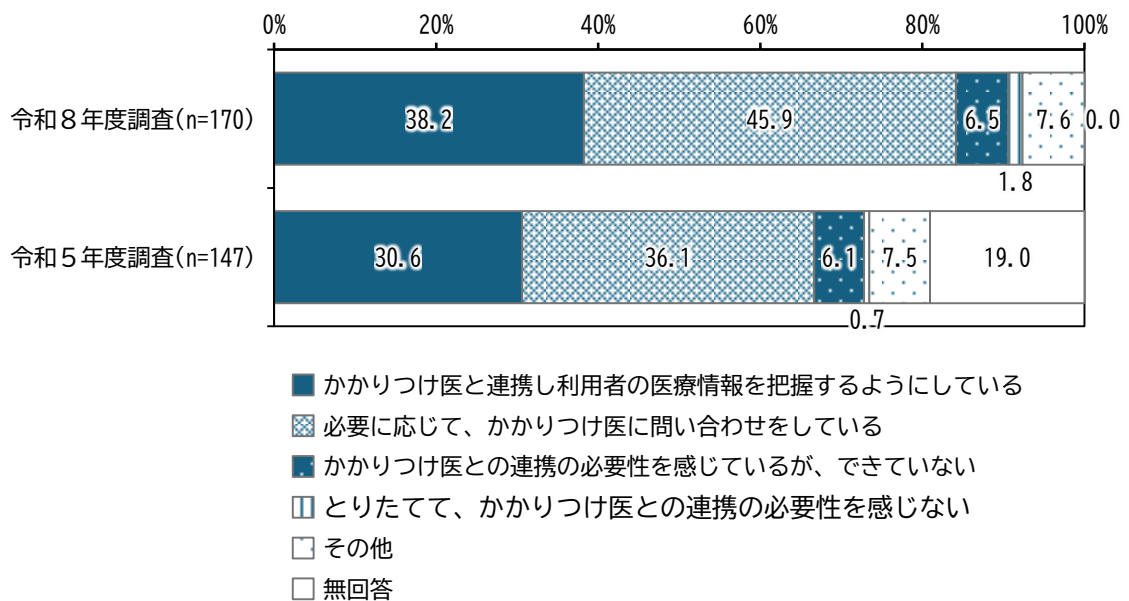


問 17

利用者のかかりつけ医との連携や情報交換を行っていますか。(数字を1つ)

利用者のかかりつけ医との連携や情報交換については、「必要に応じて、かかりつけ医に問い合わせをしている」が45.9%で最も高く、次いで「かかりつけ医と連携し利用者の医療情報を把握するようにしている」が38.2%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「必要に応じて、かかりつけ医に問い合わせをしている」が9.8ポイント増加し、「かかりつけ医と連携し利用者の医療情報を把握するようにしている」が7.6ポイント増加しています。



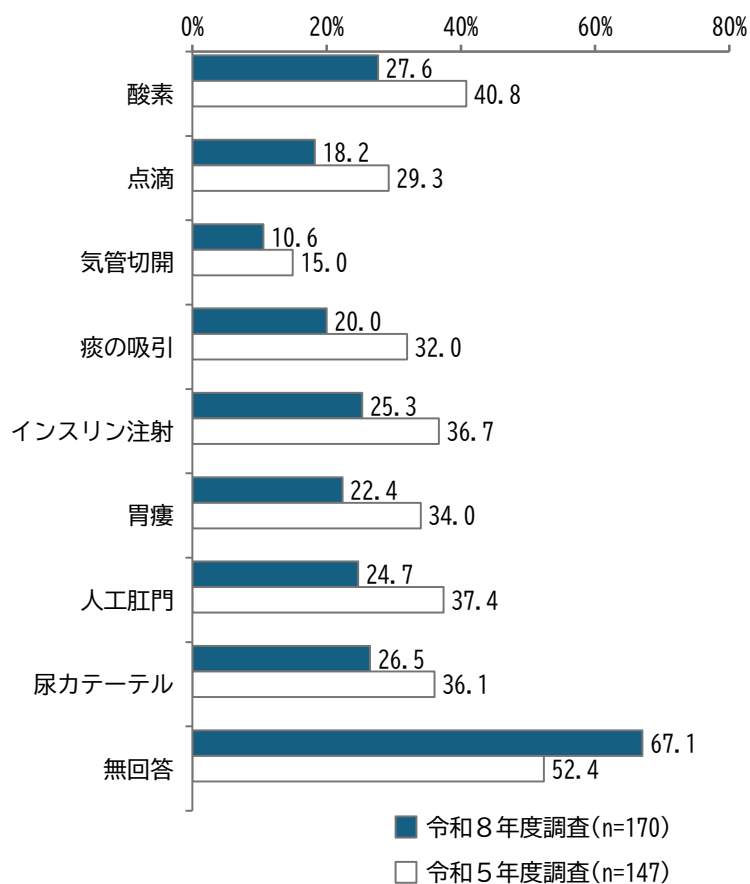
（５）看取り支援について

問 18

以下の医療処置のうち、対応できるものに○を付けてください。（すべてに○）
その内、人数制限があるものについては、人数を記入してください。

対応できる医療処置については、「酸素」が 27.6%で最も高く、続いて「尿カテーテル」が 26.5%、「インスリン注射」が 25.3%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「酸素」が 13.2 ポイント減少し、「人工肛門」が 12.7 ポイント減少しています。



医療措置内容	人数制限（平均）	
	令和5年度	令和8年度
酸素	2.2人	3.9人
点滴	2.4人	3.3人
気管切開	1.5人	4.0人
痰の吸引	1.7人	3.6人
インスリン注射	2.3人	2.2人
胃瘻	2.3人	3.5人
人工肛門	2.3人	2.6人
尿カテーテル	2.2人	2.6人

★問 19～問 32 は、施設（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護）の方におうかがいします。

問 19	貴施設における医師の配置数を教えてください。
------	------------------------

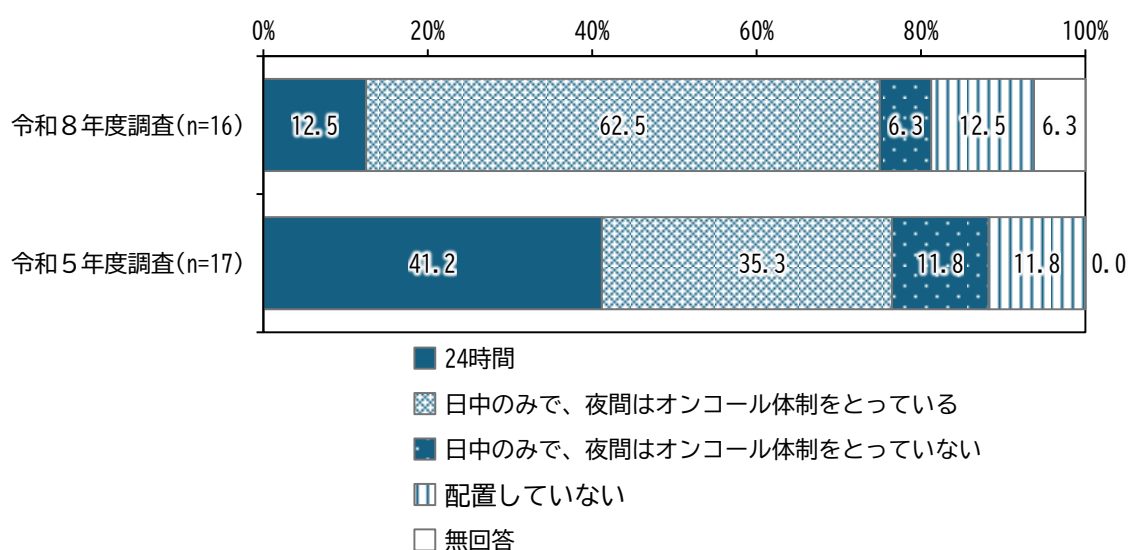
16 施設において、医師の配置数については、常勤、非常勤ともに平均 0.9 人となっています。令和 5 年度調査と比較すると、常勤は 0.3 人増加し、非常勤は 0.4 人増加しています。

形態	医師の配置数（平均）	
	令和 5 年度	令和 8 年度
常勤	0.6 人	0.9 人
非常勤	0.5 人	0.9 人

問 20	貴施設の看護職員の配置について教えてください。（数字を 1 つ）
------	----------------------------------

16 施設において、看護職員の配置については、「日中のみで、夜間はオンコール体制をとっている」が 62.5% で最も高く、続いて「24 時間」・「配置していない」が 12.5%、「日中のみで、夜間はオンコール体制をとっていない」が 6.3% となっています。

令和 5 年度調査と比較すると、「日中のみで、夜間はオンコール体制をとっている」が 27.2 ポイント増加し、「24 時間」が 28.7 ポイント減少しています。



問 21	令和 6 年度（R6. 4. 1～R7. 3. 31）において貴施設内で亡くなった人数を教えてください。（自殺・事故等を除く） その内、貴施設が看取りの対象と認識してから後に（看取りの始期以降に）、施設内で看取られて亡くなった人数は何人ですか。
------	--

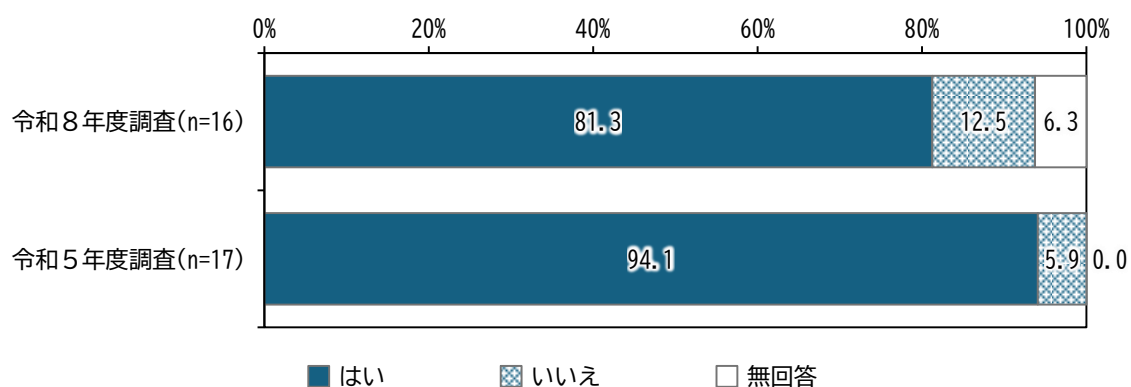
16 施設において、令和 6 年度に施設内で亡くなった人数については、合計 133 人となっています。

また、その内、施設が看取りの対象と認識してから後に（看取りの始期以降に）、施設内で看取られて亡くなった人数は、合計 105 人となっています。

問 22	貴施設では、看取りを行っていますか。（数字を 1 つ）
------	-----------------------------

16 施設において、看取りを行っているかについては、「はい」が 81.3%、「いいえ」が 12.5%となっています。

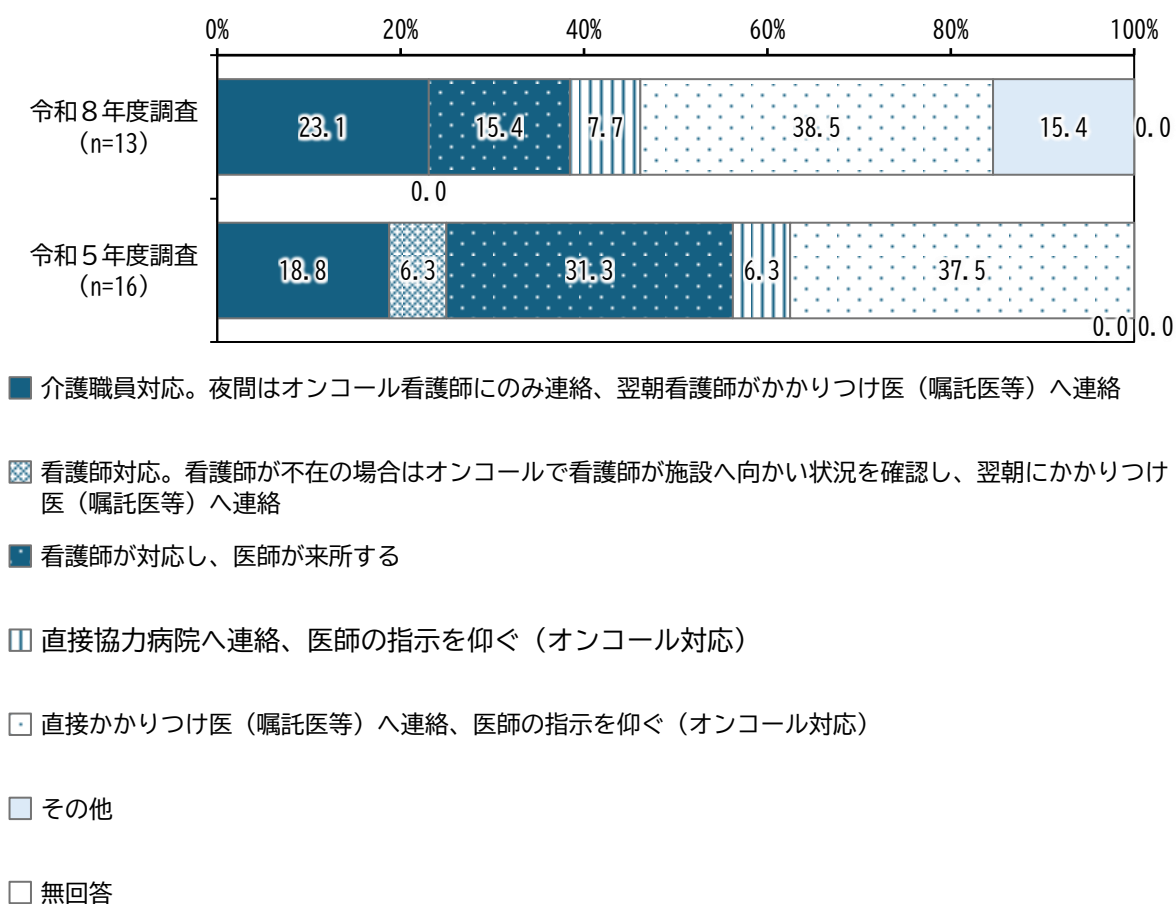
令和 5 年度調査と比較すると、「はい」が 12.8 ポイント減少し、「いいえ」が 6.6 ポイント増加しています。



問 23	問 22 で「1. はい」(看取りを行っている)と選択した方におうかがいします。 貴施設での夜間看取り時対応について、一番近い選択肢を選んでください。(数字を1つ)
------	---

看取りを行っている 13 施設において、夜間看取り時対応については、「直接かかりつけ医（嘱託医等）へ連絡、医師の指示を仰ぐ（オンコール対応）」が 38.5%で最も高く、続いて「介護職員対応。夜間はオンコール看護師にのみ連絡、翌朝看護師がかかりつけ医（嘱託医等）へ連絡」が 23.1%、「看護師が対応し、医師が来所する」・「その他」が 15.4%となっています。

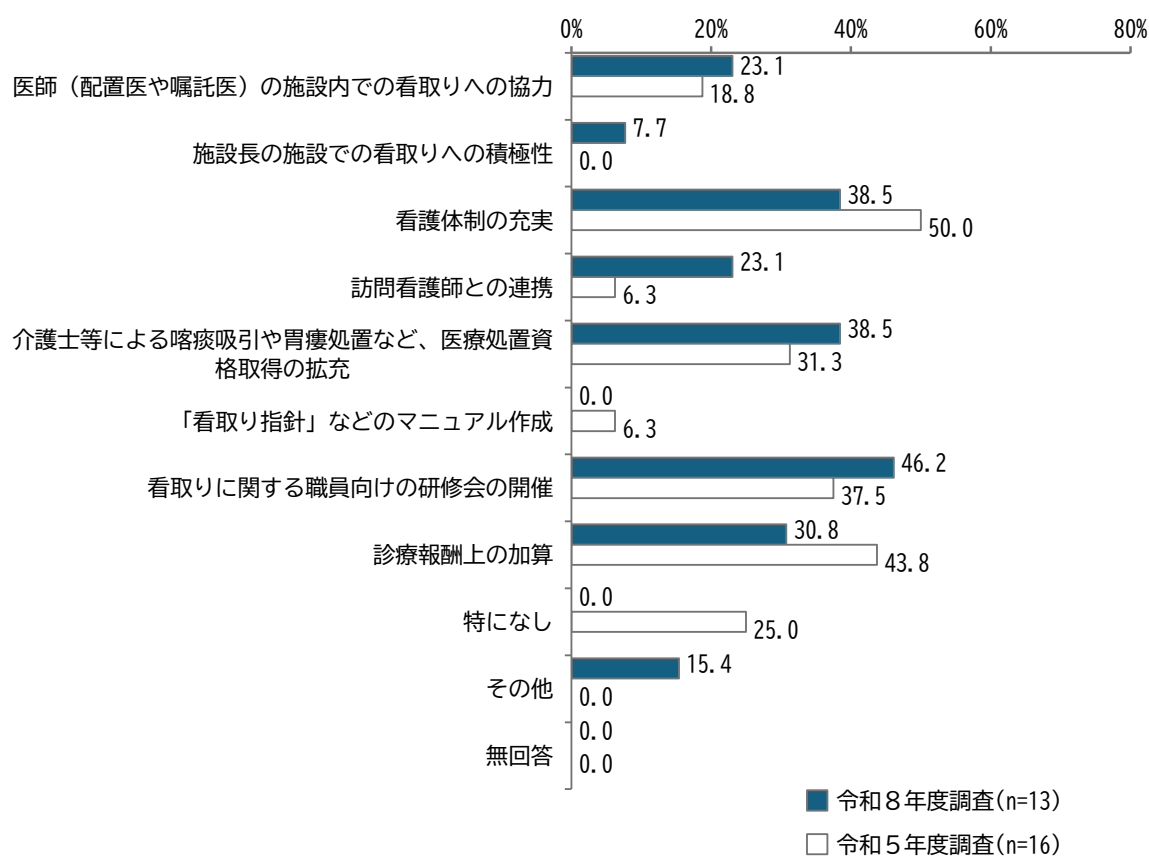
令和 5 年度調査と比較すると、「看護師が対応し、医師が来所する」が 15.9 ポイント減少しています。



問 24	問 22 で「1. はい」（看取りを行っている）と選択した方におうかがいします。 貴施設でさらに看取りを増やしていくために、課題であると思われるものを選択してください。（すべてに○）
------	--

看取りを行っている 13 施設において、さらに看取りを増やしていくために、課題であると思われるものについては、「看取りに関する職員向けの研修会の開催」が 46.2%で最も高く、続いて「看護体制の充実」・「介護士等による喀痰吸引や胃瘻処置など、医療処置資格取得の拡充」が 38.5%、「診療報酬上の加算」が 30.8%となっています。

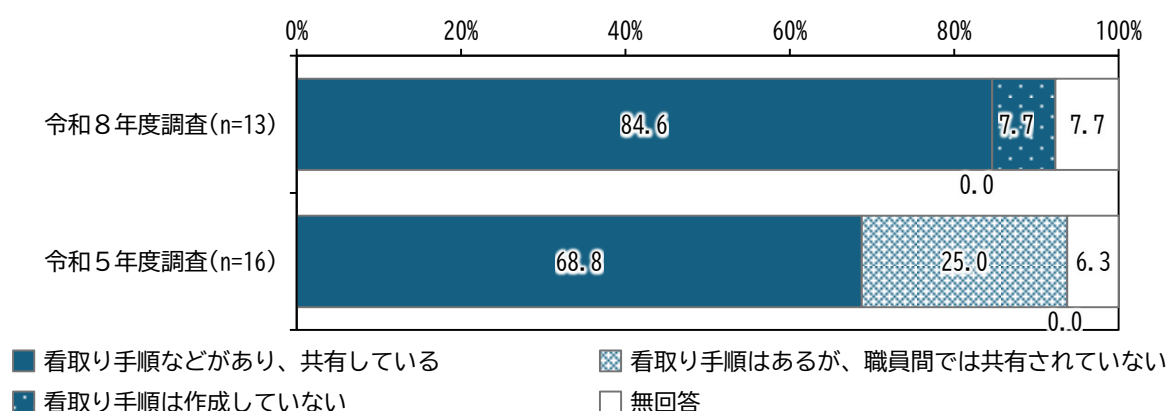
令和 5 年度調査と比較すると、「訪問看護師との連携」が 16.8 ポイント増加し、「診療報酬上の加算」が 13.0 ポイント減少しています。



問 25	問 22 で「1. はい」(看取りを行っている)と選択した方におうかがいします。 貴施設では、「看取り手順」などを作成し、職員間で共有していますか。(数字を1つ)
------	--

看取りを行っている 13 施設において、「看取り手順」などを作成し、職員間で共有しているかについては、「看取り手順などがあり、共有している」が 84.6%で最も高く、次いで「看取り手順は作成していない」が 7.7%となっています。

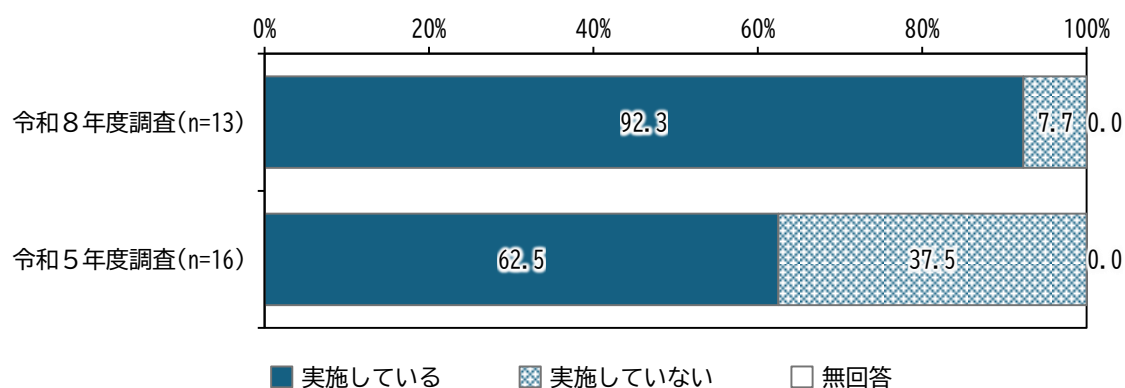
令和 5 年度調査と比較すると、「看取り手順などがあり、共有している」が 15.8 ポイント増加し、「看取り手順はあるが、職員間では共有していない」が 25.0 ポイント減少しています。



問 26	問 22 で「1. はい」(看取りを行っている)と選択した方におうかがいします。 貴施設では、看取りに関する職員向けの研修会を実施していますか。(数字を1つ)
------	--

看取りを行っている 13 施設において、看取りに関する職員向けの研修会を実施しているかについては、「実施している」が 92.3%、「実施していない」が 7.7%となっています。

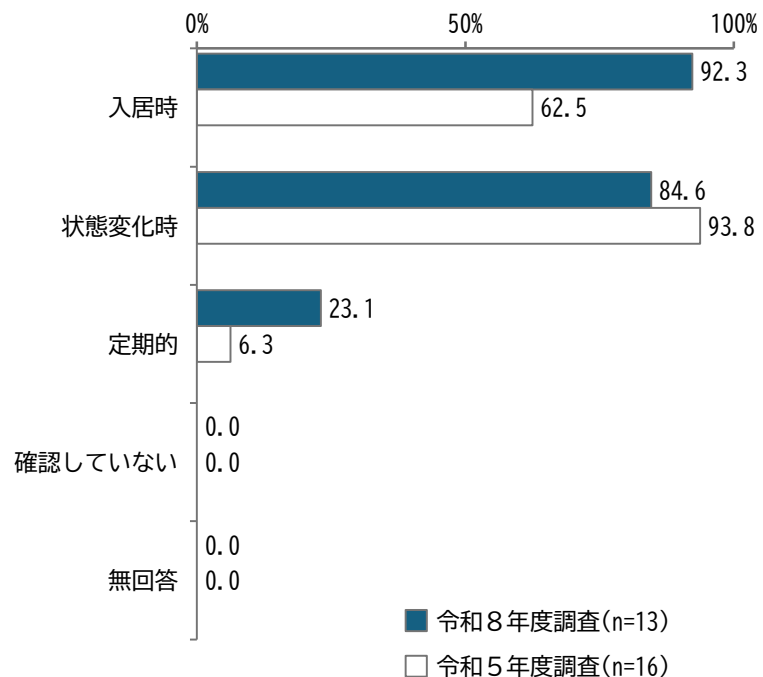
令和 5 年度調査と比較すると、「実施している」が 29.8 ポイント増加し、「実施していない」が 29.8 ポイント減少しています。



問 27	問 22 で「1. はい」(看取りを行っている)と選択した方におうかがいします。 貴施設では、利用者に対していつ看取りの希望を確認していますか。(すべてに○)
------	---

看取りを行っている 13 施設において、利用者に対していつ看取りの希望を確認しているかについては、「入居時」が 92.3%で最も高く、続いて「状態変化時」が 84.6%、「定期的」が 23.1%となっています。

令和 5 年度調査と比較すると、「入居時」が 29.8 ポイント増加し、「状態変化時」が 9.2 ポイント減少しています。



問 28	問 22 で「1. はい」(看取りを行っている)と選択した方におうかがいします。 貴施設での看取りを希望していた利用者を救急搬送した回数は、令和 6 年度 (R6. 4. 1～R7. 3. 31) に何回ありましたか。
------	---

看取りを行っている 13 施設において、令和 6 年度に看取りを希望していた利用者を救急搬送した回数は、合計 0 回となっています。

問 29	問 28 で貴施設での看取りを希望していた利用者を救急搬送した回数が 1 回以上と回答した方におうかがいします。 救急搬送した主な理由を教えてください。(数字を 1 つ)
------	---

問 28 において、利用者を救急搬送した回数が 1 回以上と回答した施設が無かった為、回答結果無しとなっています。

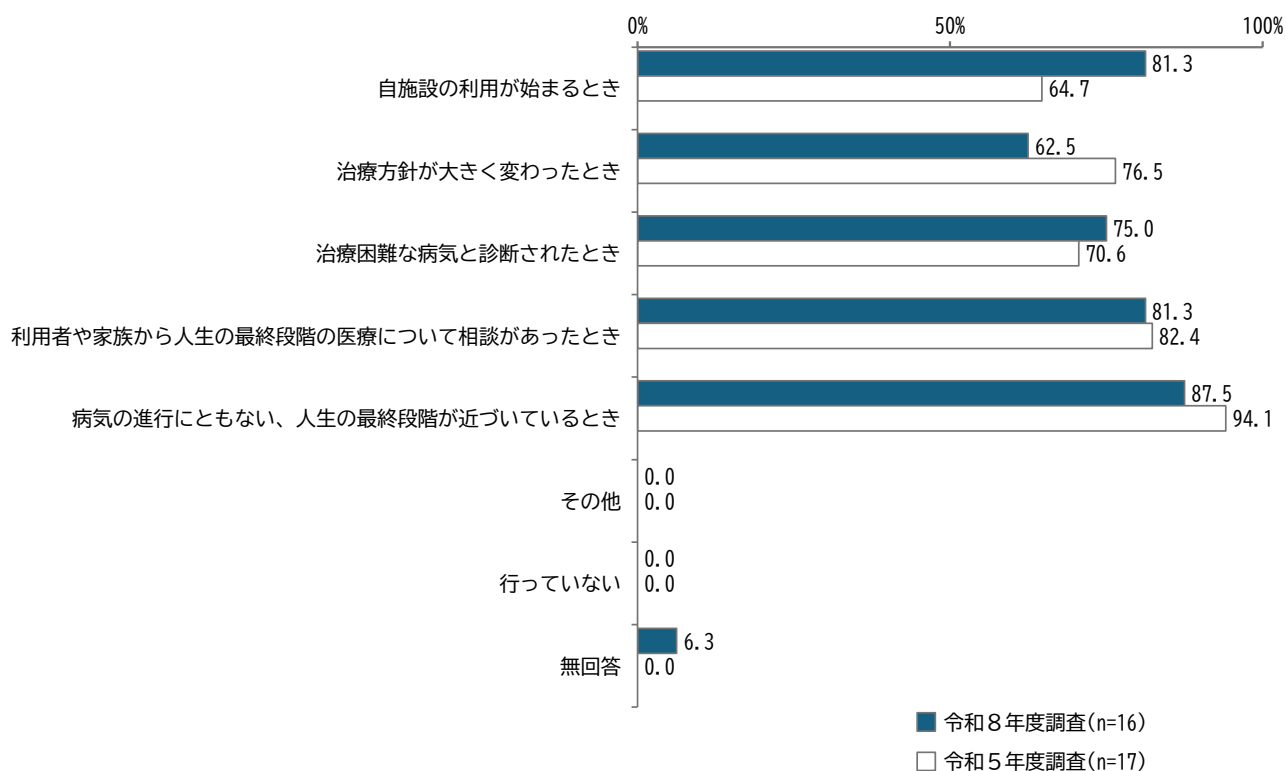
（６）人生の最終段階における意思決定支援について

問 30

貴施設では、人生の最終段階における医療・療養の方針について、利用者本人・家族との話し合いをいつ行っていますか。（すべてに○）

16 施設において、人生の最終段階における医療・療養の方針について、利用者本人・家族との話し合いをいつ行っているかについては、「病気の進行にともない、人生の最終段階が近づいているとき」が 87.5%で最も高く、次いで「自施設の利用が始まる時」「利用者や家族から人生の最終段階の医療について相談があったとき」がともに 81.3%となっています。

令和 5 年度調査と比較すると、「自施設の利用が始まる時」が 16.6 ポイント増加しています。

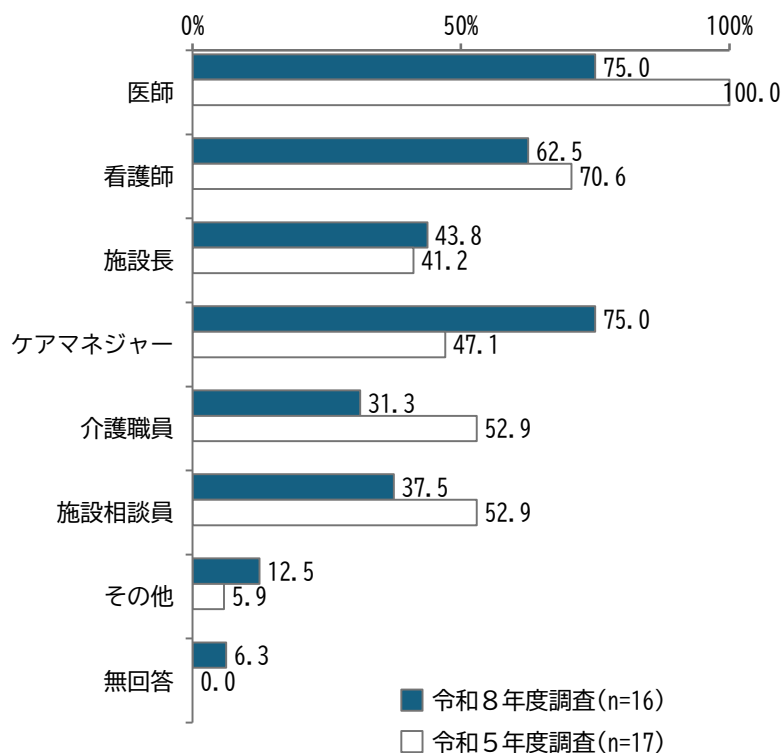


問 31

貴施設では、人生の最終段階における医療・療養の方針について、本人・家族との話し合いを誰が行っていますか。(すべてに○)

16 施設において、人生の最終段階における医療・療養の方針について、本人・家族との話し合いを誰が行っているかについては、「医師」「ケアマネジャー」ともに 75.0%で最も高く、次いで「看護師」が 62.5%となっています。

令和 5 年度調査と比較すると、「ケアマネジャー」が 27.9 ポイント増加しています。

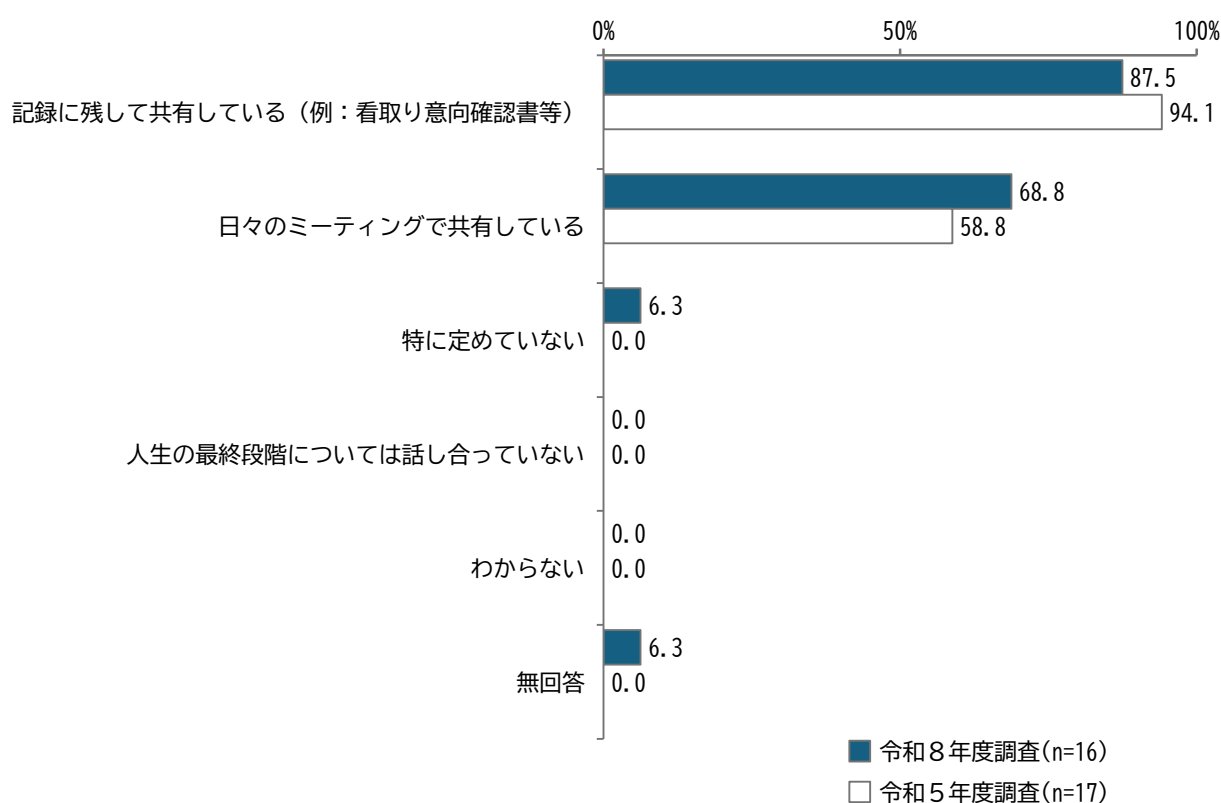


問 32

貴施設では、施設方針として、本人・家族等と人生の最終段階の医療・療養について話し合った情報について、医師や看護師・ケアマネジャー・介護職員・施設相談員等との関係者間で情報共有していますか。(すべてに○)

16 施設において、関係者間での情報共有については、「記録に残して共有している（例：看取り意向確認書等）」が 87.5%で最も高く、次いで「日々のミーティングで共有している」が 68.8%となっています。

令和 5 年度調査と比較すると、記録に残して共有している（例：看取り意向確認書等）」が 6.6 ポイント減少し、「日々のミーティングで共有している」が 10.0 ポイント増加しています。



資料（調査票）

海南市 介護サービス事業所調査

■本調査票について

実施するサービスの種類ごとに、市内の全介護事業所様の現状や問題、介護保険制度・高齢者福祉サービスに関する考え方をお聞きするものです。

■調査票の記入について

1. 複数のサービスをされている事業者様は、サービスの種類ごとに調査票を複製して、ご回答ください。
2. 設問の中で特に指示がない場合は、令和7年12月末現在の状況についてご回答ください。
3. 回答方法は、☐ 欄に回答をご記入いただいたり、選択肢の番号や○印を選んでいただくものです。選択肢で「その他」を選ばれた場合は、具体的な内容をご記入ください。

■調査票のアップロードについて

以下のリンクから、ご記入いただいた調査票（Excelファイル）をアップロードしてください。

▶**提出リンク**：<https://logoform.jp/form/yvj4/1340408>

【提出時の注意事項】

1. ファイル名は「事業所名_担当者名_ファイル番号.xlsx」としてください。
 - ・1つのサービスの場合
例：「〇〇事業所_山田太郎_1.xlsx」
 - ・複数サービスの場合（同一事業所名で複数サービスを実施）
例：「〇〇事業所_山田太郎_1.xlsx」 ←訪問介護事業分
「〇〇事業所_山田太郎_2.xlsx」 ←居宅介護支援事業分
※ファイル番号は事業所ごとに付番してください。
2. 調査票内にも、事業所名・担当者名等の記入欄がありますので、必ずご記入ください。
3. 提出後の修正が必要な場合は、再度アップロードしてください。
（最新ファイルを採用します）

提出（アップロード）期限

令和8年1月30日（金） までをお願いします。

ご不明点がある場合は、下記までご連絡ください。

お問い合わせ（平日8:30～17:15）

海南市 くらし部 高齢介護課

MAIL korei@city.kainan.lg.jp

TEL 073-483-8764

FAX 073-483-8769

貴事業所で実施しているサービス種別ごとにご回答ください。

問1 本票作成におけるサービス実施状況についておうかがいします。
また、サービスの利用人数等もご記入ください。（令和7年12月分）
（0人の場合は、該当記入欄に「0」を記入してください）。

事業所名						
担当者（記入者） 職氏名	職名	1. 管理者				
		2. その他				
	「2. その他」 具体的な内容					
	氏名					
	連絡先					
サービスの種類	実施 サービス	稼働日数 (日)	介護		介護予防	
			利用人数 (実数)	利用人数 (月間・延べ)	利用人数 (実数)	利用人数 (月間・延べ)
(記入例)	○	29日	10 人	180 人	10 人	60 人
訪問介護		日	人	人		
(介護予防) 訪問看護		日	人	人	人	人
(介護予防) 訪問リハビリテーション		日	人	人	人	人
(介護予防) 居宅療養管理指導		日	人	人	人	人
通所介護		日	人	人		
(介護予防) 通所リハビリテーション		日	人	人	人	人
(介護予防) 短期入所生活介護		日	人	人	人	人
(介護予防) 短期入所療養介護		日	人	人	人	人
(介護予防) 福祉用具貸与			人	人	人	人
特定(介護予防) 福祉用具販売			人	人	人	人
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		日	人	人		
介護老人保健施設		日	人	人		
定期巡回・随時対応型訪問介護看護		日	人	人		
地域密着型通所介護		日	人	人		
(介護予防) 認知症対応型通所介護		日	人	人	人	人
(介護予防) 小規模多機能型居宅介護		日	人	人	人	人
(介護予防) 認知症対応型共同生活介護		日	人	人	人	人
地域密着型介護老人福祉施設		日	人	人	人	人
看護小規模多機能型居宅介護		日	人	人	人	人
居宅介護支援（ケアプランの作成）		日	人	人	人	人

サービスの種類	実施サービス	稼働日数 (日)	要支援1・2		事業対象者	
			利用人数 (実数)	利用人数 (月間・延べ)	利用人数 (実数)	利用人数 (月間・延べ)
(記入例)	○	29日	10人	40人	10人	30人
総合事業 介護予防訪問介護相当 サービス		日	人	人	人	人
総合事業 訪問介護サービスA		日	人	人	人	人
総合事業 生活支援サービスB		日	人	人	人	人
総合事業 訪問型短期集中予防サ ービスC		日	人	人	人	人
総合事業 介護予防通所介護相当 サービス		日	人	人	人	人
総合事業 通所型短期集中予防サ ービスC		日	人	人	人	人

※本票はサービスの種類ごとに作成が必要ですので、実施サービス欄の○は1つです。

サービスの質の向上に向けた取組み状況等についておうかがいします。

問2 貴事業所で、介護保険外で提供しているサービスはありますか。《すべてに○》

	1. 配食サービス
	2. 家事援助サービス
	3. 交流の場・通いの場（認知症カフェやサロンなど）
	4. 介護者支援（家族の集いや教室など）
	5. 外出支援（移動支援）
	6. その他
	7. 特にない
「6. その他」具体的な内容	

問3 サービスの質の向上に向けて特に取り組んでいることはありますか。
《すべてに○》

	1. サービス提供にかかる職員研修の実施
	2. 相談窓口の設置などの環境整備
	3. サービス提供マニュアルの作成
	4. サービス利用者への満足度調査等の実施
	5. ケアカンファレンスの定期的な開催
	6. 利用者への情報提供の充実
	7. 個人情報保護・管理の徹底
	8. 自己評価の積極的な開示
	9. 施設・設備等の充実
	10. 家族介護者とのつながりの強化
	11. その他
	12. 特に何もしていない
「11. その他」具体的な内容	

当該サービスの実施に関することについておうかがいします。

問4 令和6年度介護報酬改定の影響について、改定前と改定後の収益はどのように変わりましたか。〈数字を1つ〉

	1. 収益が増えた
	2. 報酬改定の影響はあまりなかった
	3. 収益が減った

問5 介護予防・日常生活支援総合事業に関して、設定単価についてはどう感じていますか。〈数字を1つ〉

	1. 設定単価は高い
	2. 設定単価は適当
	3. 設定単価は低い
	4. 総合事業を実施していない

問6 第10期中（令和9年4月1日～令和12年3月31日）に新たに増やしたいと具体的に計画しているサービスがありますか。《すべてに○》

	1. 居宅介護支援
	2. 地域密着型通所介護
	3. 地域密着型介護老人福祉施設
	4. 認知症対応型共同生活介護
	5. 小規模多機能型居宅介護
	6. 認知症対応型通所介護
	7. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
	8. 看護小規模多機能型居宅介護
	9. 介護予防訪問介護相当サービス
	10. 訪問介護サービスA
	11. 生活支援サービスB
	12. 訪問型短期集中予防サービスC
	13. 介護予防通所介護相当サービス
	14. 通所型短期集中予防サービスC
	15. 訪問型サービスD
	16. その他
「16. その他」具体的な内容	

問7 第10期中（令和9年4月1日～令和12年3月31日）に当該サービスについて、廃止や休止、サービス変更が計画されていますか。〈数字を1つ〉

	1. 事業所廃止
	2. 事業所休止
	3. サービス変更
「3. サービス変更」具体的な内容	

問8 現在実施のサービスにおいて、ICT機器を導入していますか。〈数字を1つ〉

	1. 導入済み ⇒問9、問10へ
	2. 導入を検討している ⇒問12へ
	3. 導入予定はない ⇒問11へ

問9 問8で「1. 導入済み」を選択した方におうかがいします。
どのような機器を導入していますか。《すべてに○》

	1. 記録や情報共有を効率化するICT（介護記録ソフト、インカム等）
	2. 見守り業務の負担を軽減するICT（見守りセンサー、見守りカメラ等）
	3. 事務管理部門業務を効率化するICT（介護請求ソフト、勤怠管理システム等）

問10 問8で「1. 導入済み」を選択した方におうかがいします。
機器導入による効果はありましたか。《すべてに○》

	1. 業務の効率化・時間の短縮につながった
	2. 利用者情報の共有や従業員間の連携が改善された
	3. あまり効果は見られない
	4. その他

「4. その他」具体的な内容

※問10回答後 ⇒ 問12へ

問11 問8で「3. 導入予定はない」を選択した方におうかがいします。
その理由を教えてください。《すべてに○》

	1. 必要がないため
	2. 導入・維持費用が高額なため
	3. 補助金申請などの事務処理が煩雑なため
	4. 効果が不透明なため
	5. その他

「5. その他」具体的な内容

問12 当該サービス実施において、介護ロボットを導入していますか。〈数字を1つ〉

	1. 導入済み ⇒問13、問14へ
	2. 導入を検討している ⇒問16へ
	3. 導入予定はない ⇒問15へ

問13 問12で「1. 導入済み」を選択した方におうかがいします。
どのような種類の介護ロボットを導入していますか。《すべてに○》

	1. 移乗介助（装着型介助機器／非装着型介助機器）
	2. 移動支援（屋外型・屋内型・装着型）
	3. 排泄支援（排泄物処理・排泄予測・動作支援）
	4. 見守り・コミュニケーション（施設・在宅・生活支援）
	5. 入浴支援
	6. 介護業支援

問14 問12で「1. 導入済み」を選択した方におうかがいします。
介護ロボット導入による効果はありましたか。《すべてに○》

	1. 身体的な負担の軽減につながった
	2. 精神的な負担の軽減につながった
	3. 人手不足の解消につながった（夜間業務の負担軽減など）
	4. あまり効果は見られない
	5. その他

「5. その他」具体的な内容

※問14回答後 ⇒ 問16へ

問15 問12で「3. 導入予定はない」を選択した方におうかがいします。
その理由を教えてください。《すべてに○》

	1. 必要がないため
	2. 導入・維持費用が高額なため
	3. 補助金申請などの事務処理が煩雑なため
	4. 効果が不透明なため
	5. その他
「5. その他」具体的な内容	

医療機関との連携について、おうかがいします。

問16 医療機関とはどのような連携をとっていますか。《すべてに○》

	1. 医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている
	2. 往診をしてくれる医師・医療機関がある
	3. 症状急変時の受入を依頼できる病院を確保している
	4. 提携病院があり、入院を受け入れてもらっている
	5. 職員への研修講師などをお願いしている
	6. ケースカンファレンスに医療機関に参加してもらっている
	7. 医療機関を経営しており、連携をとっている
	8. 医師が常駐している
	9. その他
	10. 特段の連携をとっていない
「9. その他」具体的な内容	

問17 利用者のかかりつけ医との連携や情報交換を行っていますか。〈数字を1つ〉

	1. かかりつけ医と連携し利用者の医療情報を把握するようにしている
	2. 必要に応じて、かかりつけ医に問い合わせをしている
	3. かかりつけ医との連携の必要性を感じているが、できていない
	4. とりたてて、かかりつけ医との連携の必要性を感じない
	5. その他
「5. その他」具体的な内容	

看取り支援について、おうかがいします。

問18 以下の医療処置のうち、対応できるものに○を付けてください。
《すべてに○》
その内、人数制限があるものについては、人数を記入してください。

人数制限			
	1. 酸素	⇒	人
	2. 点滴	⇒	人
	3. 気管切開	⇒	人
	4. 痰の吸引	⇒	人
	5. インスリン注射	⇒	人
	6. 胃瘻	⇒	人
	7. 人工肛門	⇒	人
	8. 尿カテーテル	⇒	人

問19～問32は、施設（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護）の方におうかがいします。

⇒上記以外の方は問33へ

問19 貴施設における医師の配置数を教えてください。

常勤	⇒	人
非常勤	⇒	人
合計		0人

問20 貴施設の看護職員の配置について教えてください。〈数字を1つ〉

	1. 24時間
	2. 日中のみで、夜間はオンコール体制をとっている
	3. 日中のみで、夜間はオンコール体制をとっていない
	4. 配置していない

問21 令和6年度（R6.4.1～R7.3.31）において貴施設内で亡くなった人数を教えてください。（自殺・事故等を除く）

人

その内、貴施設が看取りの対象と認識してから後に（看取りの始期以降に）、施設内で看取られて亡くなった人数は何人ですか。

人

問22 貴施設では、看取りを行っていますか。〈数字を1つ〉

	1. はい ⇒問23～問28へ
	2. いいえ ⇒問30へ

問23 問22で「1. はい」（看取りを行っている）と選択した方におうかがいします。
貴施設での夜間看取り時対応について、一番近い選択肢を選んでください。〈数字を1つ〉

	1. 介護職員対応。夜間はオンコール看護師にのみ連絡、翌朝看護師がかりつけ医（嘱託医等）へ連絡
	2. 看護師対応。看護師が不在の場合はオンコールで看護師が施設へ向かい状況を確認し、翌朝にかりつけ医（嘱託医等）へ連絡
	3. 看護師が対応し、医師が来所する
	4. 直接協力病院へ連絡、医師の指示を仰ぐ（オンコール対応）
	5. 直接かかりつけ医（嘱託医等）へ連絡、医師の指示を仰ぐ（オンコール対応）
	6. その他

「6. その他」具体的な内容

問24 問22で「1. はい」（看取りを行っている）と選択した方におうかがいします。
貴施設でさらに看取りを増やしていくために、課題であると思われるものを選択してください。《すべてに○》

	1. 医師（配置医や嘱託医）の施設内での看取りへの協力
	2. 施設長の施設での看取りへの積極性
	3. 看護体制の充実
	4. 訪問看護師との連携
	5. 介護士等による喀痰吸引や胃瘻処置など、医療処置資格取得の拡充
	6. 「看取り指針」などのマニュアル作成
	7. 看取りに関する職員向けの研修会の開催
	8. 診療報酬上の加算
	9. 特になし
	10. その他

「10. その他」具体的な内容

問25 問22で「1. はい」（看取りを行っている）と選択した方におうかがいします。
貴施設では、「看取り手順」などを作成し、職員間で共有していますか。
〈数字を1つ〉

	1. 看取り手順などがあり、共有している
	2. 看取り手順はあるが、職員間では共有されていない
	3. 看取り手順は作成していない

問26 問22で「1. はい」（看取りを行っている）と選択した方におうかがいします。
貴施設では、看取りに関する職員向けの研修会を実施していますか。
〈数字を1つ〉

	1. 実施している
	2. 実施していない

問27 問22で「1. はい」（看取りを行っている）と選択した方におうかがいします。
貴施設では、利用者に対していつ看取りの希望を確認していますか。
《すべてに○》

	1. 入居時
	2. 状態変化時
	3. 定期的
	4. 確認していない ⇒問30へ

問28 問22で「1. はい」（看取りを行っている）と選択した方におうかがいします。
貴施設での看取りを希望していた利用者を救急搬送した回数は、令和6年度（R6. 4. 1～R7. 3. 31）に何回ありましたか。

回 ⇒ 「0回」と答えた施設は問30へ

問29 問28で貴施設での看取りを希望していた利用者を救急搬送した回数が1回以上と回答した方におうかがいします。
救急搬送した主な理由を教えてください。〈数字を1つ〉

	1. かかりつけ医師（嘱託医等）との連絡調整がつかなかったため
	2. 看護師（訪問看護師）から、救急搬送をするかどうかの指示を得ることができなかったため
	3. 利用者からの希望変更の申出による
	4. 家族からの希望変更の申出による
	5. その他
「5. その他」具体的な内容	

また、今後、施設内での看取りを希望していた利用者を救急搬送しないようにするには、どうすればよいと思われますか。ご意見等をお持ちであればご記入ください。

人生の最終段階における意思決定支援について、おうかがいします。

問30 貴施設では、人生の最終段階における医療・療養の方針について、利用者本人・家族との話し合いをいつ行っていますか。《すべてに○》

	1. 自施設の利用が始まる時
	2. 治療方針が大きく変わったとき
	3. 治療困難な病気と診断されたとき
	4. 利用者や家族から人生の最終段階の医療について相談があったとき
	5. 病気の進行にともない、人生の最終段階が近づいているとき
	6. その他
	7. 行っていない

「6. その他」具体的な内容

問31 貴施設では、人生の最終段階における医療・療養の方針について、本人・家族との話し合いを誰が行っていますか。《すべてに○》

	1. 医師
	2. 看護師
	3. 施設長
	4. ケアマネジャー
	5. 介護職員
	6. 施設相談員
	7. その他

「7. その他」具体的な内容

問32 貴施設では、施設方針として、本人・家族等と人生の最終段階の医療・療養について話し合った情報について、医師や看護師・ケアマネジャー・介護職員・施設相談員等との関係者間で情報共有していますか。《すべてに○》

	1. 記録に残して共有している（例：看取り意向確認書等）
	2. 日々のミーティングで共有している
	3. 特に定めていない
	4. 人生の最終段階については話し合っていない
	5. わからない

問33 その他、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。

--

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

お手数をおかけしますが、記入もれがないか、再度お確かめください。
ご回答が済みましたら、お手数ですが

令和8年1月30日（金）

までに最初の頁にある提出リンクからアップロードください。

海南市
介護サービス事業所報告書

令和8年3月

海南市 暮らし部 高齢介護課

〒642-8501 和歌山県海南市南赤坂11番地

TEL : 073-483-8601
FAX : 073-483-8769